

大井町線

<http://www.okajoki.com/>



2025

11

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし 4

会員雑詠集「無人駅」 7

■例月句会結果■

おかじょうき川柳社 10 月例句会 19

十和田たてがみ川柳会 9 月句会報 25

Infomation 28 ～

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！

というあなたへ

2月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」と言っているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

【方法①】PC とプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すれば OK です。

【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することができます。



【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することができます。



【コンビニでのプリント参考価格】

A3 モノクロ 1 ページ：約 20 円／ A3 カラー 1 ページ：約 100 円

見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

カンテラ

むせし

ことしも忘年会を考える時期が来てしまいました。

12月6日(土) 午後、青森駅近くのねぶたの家「ワ・ラッセ」で「川柳忘年会」を開催します。

皆様、どうぞふるってご参加いただきますようよろしく願います。

それではカンテラに明かりを点しましょう。

A群

草を取るもう後ろから這えてくる

奥田悦生

行き暮れて木の下かげの青蛙

葉 閑女

葉閑女さん、この句を読んで「行き暮れて木の下陰を宿とせば 花や今宵の主ならまし」という平忠度の辞世の歌を思い出しました。この歌、好きです。これを本歌取りしてしまうとは大胆。「青蛙」が決まっていますね。

B群

編集のしすぎで森になっちまう

土田雅子

全身に満月散って眠れない

四ツ屋いずみ

恋人だったのよジュラ紀までだけど

きこぎ彼句吾

ノアザミのノが邪魔をして飛べないの

守田啓子

鯉呼吸ゼロのかたちを整える

三浦蒼鬼

輪郭をぼかして明日の手前まで

米山明日歌

また洗う捨ててしまえばいいルビを

宮井いずみ

ひとり旅できるだろうか茜空

まみどり

むず痒い背中に住んでいる女神

一帆

受け身だけ習って嫁ぎ四十年

亥の一

つむじ風時々起こるくすり指

坂本清乃

ワタクシに見せる今年の曼殊沙華

熊谷冬鼓

九歳のわたしは遠く掴めない

辻井洋子

親の手に似ている手の人を見てる

夏草ふぶき

擬音語が鳴り響いてる朝の虹

戒 踊兵

拾ってはいけないものをまた拾う

まきこ

銀杏は黄 残り時間をしなやかに

吉見恵子

宮井いずみさん、「ルビ」ってふりがなのことですよね。「ルビ」が洗ったり捨てたりするものだと知りませんでした。これは、いずみさんにとっては何でもないことかもしれないのですが、普通人のむさしには大発見に見えます。そうですか、「ルビ」は洗えるもののですか。勉強になりました。

C群

頭頂にアフラマズダを載せて秋

小野五郎

例の③ぐらいの老いを歩いてる

斎藤泰子

瘡蓋の下に 太平洋がいる

芝岡かんえん

赤とんぼで君を探している

柳本恵子

小野五郎さん、私は「アフラマズダ」を知りませんでした。広辞苑に出ている「アフラー・マズダ【Ahura Mazda ペルシア】(アフラは神、マズダは知恵の意) 古代ペルシアのゾロアスター教の最高神。一切の

善・正義・慈悲・秩序・光明の源泉。悪神のアフリマ
ンと闘争し、最後に勝利するという。オフルマズド
(Ohmazd)。」ですね。簡単に言えば「善と光明の神」。
それを頭に載せて「秋」にしてしまうって凄いパワー
プレイです。おもしろいなあ。

斎藤泰子さん、「例の③」がどんな辞典に出ていて、
どんなことが書かれているか分かりませんが、これい
いですね。「③美しい影を背負っているひと」なんて
書いてあったりしてね（笑）

芝岡かんえもんさん、この句、かんえもんさんにし
ては普通っぽい内容だと思いました（笑）それに1字
空けを入れて、最後を普通の人が考えそうもない「い
る」にして、たったそれだけで普通じゃない句にして
しまったのは手練れにしかできないこと。「太平洋」っ
て「いる」ものでしたか…（汗）あれ？「瘡蓋の下に」
いるってことは、この「太平洋」って、かんえもんさ
んのことじゃないの？そうだったのか。今度かんえも

んさんにお会いすることがあったら「おー太平洋！」っ
て声を掛けようかな（笑笑）よろしくね！

柳本恵子さん、むさしは縄文人だから「#」を知り
ませんでした。AIさんに聞いたら「ハッシュタグ
（#）は横線が水平で、SNSなどでキーワードを分
類するために使われる」と教えてくれました。という
ことは、「君」は「赤とんぼ」に分類されているん
ですね。因みに「君」を広辞苑で調べたら「高貴な人な
どを指している」とか「主として男性が同輩以下に使
う語」とかいろいろ意味があって、この句の「君」は「女
から男を、親しみをこめて言う語」に該当するような
気がしました。要するに恵子さんのいいひとが「赤と
んぼ」の仲間ってことも…。違う！って言われそう
だな（汗）

おかじょうき加柳社会員雑誌集

無人駅

★無人駅10月月間賞

降参は小玉スイカを下げてくる

峯島 妙

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

追悼の酒に砂糖を入れている
芭蕉布を歌うところ穏やかに
目玉焼き変身月見ハンバーガー
大食い家族と見てる大相撲
売り上手買手下足の痛い靴

先月号のお気に入り
アリバイを嘘っぽくする青インク
青インク、が素晴らしい！
夏草ふぶき

一帆【いちほ・秋田県秋田市】

一線は自分で引くさけセラセラ
むず痒い背中に住んでいる女神
生き返るほんの少しのストレッチ
ネット検索棘の抜き方愛し方
あの人のこの人の名も穴の中

先月号のお気に入り

亥の一【いのいち・青森県青森市】

ビニールで2重に包んで捨てた過去
冷や汗も地の塩になる室外機
婆というコンビニになり定年延長
受け身だけ習って嫁ぎ四十年
団栗と飴玉で描くGDP

先月号のお気に入り
無防備のまま八月の風を聴く
底知れぬ不安に作者同様震えました
葉 閑女

戎踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

鳳仙花ためらうことを止めた夏
受け容れたように頷くスキの穂
擬音語が鳴り響いてる朝の虹
うっかりと歩き易さを選ぶ道
幸せに成るには守れないルール

先月号のお気に入り
風景に傷がない日の蓮の香
蓮の花を見ている時に、鳥が見えたら良いことが有るそうです。鳥は見えましたか？
夏草ふぶき

奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

『国宝』に学ぶ残暑厳しい午後
老い二人心耕すスクリーン
コスモスだけが迎えてくれる無人駅
ブレーキが二つ付いてる車買う
草を取るもう後ろから這えてくる

先月号のお気に入り
平均寿命より長いレシート
長い人生には思いもよらぬ…コーヒー、コーラ、カップ
麺等々当たります！
きざらぎ彼留書

尾崎良仁【おざきりょうじん・千葉県船橋市】

あいつはね海が見えちゃう男だよ
目は合わさぬカネの話になるから
銅像になつて土下座してる俺
性欲の衰え西日の火照り
根っこはな今も夢見ているんだよ

先月号のお気に入り

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

列島の腰の辺りに震度3
寛骨の凹みで始まる地鎮祭
耳朶がフレキシブルな般若面
頭頂にアフラマズダを載せて秋
時間割なんとかこなしてヨロイザメ

先月号のお気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

路地裏の風説の芽を射る祭り
寝室も道の上だと知る初老
少年を止めよ花野の花になる
太陽と俺だけ残る白日傘
ネクタイを外せボクちゃん出てこいやく

先月号のお気に入り
ブータンの金魚になるの 来ない？
付いて行こうと一瞬思った。
吉田州花

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

レモンらしくなくなってきたね ごめん
恋人だったのよジュラ紀までだけど
ポーカーフェイスなのは表面温度だけ
押し入られる波を蹴立てる巻舌に
ハウリングしちゃう手ブラしちゃうってから

先月号の
お気に入り

白線の内側からの見えるの手 嵯峨山登
安全圏で知らん振りしてたのに、ついつい手を差しのべ
ちゃう…のね

熊谷冬鼓【くまがいうこ・青森県青森市】

ワタクシに見せる今年の曼殊沙華
見なくても解ってしまう丸い背
天高く微分積分水分塩分
乗り越えて裏の長靴よく動く
鬼アザミもススキも酷暑越えて来た

先月号の
お気に入り

包丁を呼べば右腕降ってくる 宮井いずみ
面白い！たまに大きな鯛貰うのでその時はお願ひした
い！

小松憲一【こまつけんいち・茨城県常陸大宮市】

思いっきり背伸び二度目の十七を
あんもにあ臭うむかしの図朱を引く
もうすこしつづけたい旅潮を待つ
つぎはふゆ妙に酷暑がなつかしい
おれはわるくない他責の大戦後

先月号の
お気に入り

空も海も何を隠して青になる 坂本清乃
青がいいですね。隠したものを朝夕に赤く焼いて青に戻
る、いずれニンゲンも隠されるのですね。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

例の③ぐらいの老いを歩いてる
芒野を横切って来ただけのこと
傷つかず傷つけもせず日が暮れる
夜が更ける仮面の汗を乾かして
渡された石捨てようか磨こうか

先月号の
お気に入り

半世紀前のちははは影法師 土田雅子
おかえりなさい。待つてました。

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

秋にまだ辿り着けない夏疲れ
つむじ風時々起こるくすり指
毛虫ワサワサ間引き菜にすくみ足
アオエミナのなカボチャのうめき声
悲しみは思い出になる茄子の馬

先月号の
お気に入り

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

乗ってもいいエレベーターは自己責任で
悪女にも少しは敬意をはらったら
寝る前にβグルカン飲む習慣
僕の耳嘘っぱちしか聞きません
イントロは暗号通貨イ短調

先月号の
お気に入り

立て付けの悪い本日の言い訳 米山明日歌
明日の言い訳はどんな感じでしょうか。明日も立て付け
悪いかしら。

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

無念なら夢を現に変えるべし
和のために修羅の道ゆく漢たち
義のために性善説は炉に焚べた
七転八倒イノシシきりり綺羅ざらり
独裁者斃した者がまた玉座

先月号の
お気に入り

自国ファースト寅さんの啖呵には無いな 亥の一
寅さんなら何と諭すでしょうね

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

この街のモノクロで一生終わる
オーロラの溢れ出してる更衣室
この愛を続ける為の生臭さ
瘡蓋の下に 太平洋がいる
タイフーン 君の真水を喰らってる

先月号の
お気に入り

砂吐いて吐いて透明取り戻す 尾崎良仁
経験あり。しかし私は透明を取り戻せなかった。吐いて
吐いてが魅力的。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

あつさりと姑と夫を置いていく
十四年実母と暮らした宝もの
孫のことと思うが孫の知らんぷり
子育ては夫に長女バリへ飛ぶ
コツコツと小銭を貯めて次女の夢

先月号の
お気に入り

金で済む話なのねと言ってみる 葉閑女
お金持ちだから、言えそうなセリフですね。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

妹は「悲しい夜」の虜です
水槽に放すホグワーツの微熱
KONOSENRYUHA「AI」DETUKURIMASHITANO
いい人の演技は今日で終わりです
お客様のなかに川柳作家様はいらっしゃいませんか

先月号の
お気に入り

ペンを持つマイノリティの仲間入り 四ツ屋いずみ
原稿用紙にサインペンで書いてます、「無人駅」の下書き。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

九歳のわたしは遠く掴めない
正解が動かぬように寝押しする
鉄欠乏足りないことが多すぎる
子守唄冬を寝かせて見てみよう
ワンワンと泣いてる犬だ見に行こう

先月号の
お気に入り

つけこまれたのは独りぼっちのインコース きざりぎ彼句書
なるほど、落ち込んだ訳わかりました。

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

我よ我よと真夏のシクラメン
仏壇のお盆箱菓子終えて秋
編集のしすぎで森になっちゃう
こんなにやく芋が悪さをするのです
街にうごめくマカディアンな殺意

先月号の
お気に入り

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

泣き虫の心はいつも澄んでいる
バックギア持たずに進む蛇の足
真実が見えなくなったLED
なんだってします私はゾウリムシ
目が既に白状してるお人好し

先月号の
お気に入り

カマキリの眼をして愛を説いている 戒踊兵
その目は大丈夫？騙されていない？

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

冬支度地球を絨毯にしましよ
旨味出汁ワタシをほんの少しどうぞ
柔らかいものが好きです反比例
何処と何処あそこあそこ紐付け中
太陽の向きが変ですトランプさん

先月号の
お気に入り

完全犯罪確かに僕はそこにいたんだ 須藤しんのすけ
たぶん居たよね。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

友が逝く同居の猫が茶毘に付す
この匂い？と記憶が出しゃばってくる
親の手に似ている手の人を見てる
秋雨が角を溶かして降ってくる
飽きたから夏も百合も折っちゃう

先月号の
お気に入り

真夏日の連揺れているあまり風 渡邊こあき
私もあまり風に出会いたい

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

悲しみがわいてくる月をみるとき
ふがいないかたちにまけた水たまり
したたらずでしたとストリートピアノ
めざめれば旅の途中が続きます
つい、さやあてをしよう野菊です

先月号の
お気に入り

畳んでもうらがえてもろくでなし 芝岡かんえもん
ろくでなし、に惹かれました。

舟木小柳【ふなぎこりゅう・青森県青森市】

世界中言語統一来い平和
夢の中マドンナを追う杖ついて
王座戦勝負に吠えるマールイオン
ナラ枯れを成敗してよウルトラマン
ガザの子に食べてほしいなゆで卵

先月号の
お気に入り

想い出を次々捨てて仕上げる
想い出、なかなか捨てられない私。
夏草ふぶき

まきこ【まきこ・青森県青森市】

さよならは笑い飛ばして暮れてゆく
ヘイヘイヘイ私の後ろついてきて
いい加減自由にさせろ外は雨
拾ってはいけないものをまた拾う
勝った負けたどうかしてよ明日のこと

先月号の
お気に入り

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

訃報聞くなんでなんと雨しとど
見送りの涙は鳥にくれてやる
何十年経っても色あせぬポッケ
ひとり旅できるだろうか茜空
おぼろげな欲だが捨てられずにいる

先月号の
お気に入り

頬杖か四股踏むべきかティータイム
うぐん、どっちもやめて寝ちゃうかも。
辻井洋子

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

ビギナーズラックあなたに逢いたくて
ひらがなの舌で丸める泥団子
アナログにある影武者の小宇宙
家系図の過去に引つ掻き傷がある
鰓呼吸ゼロのかたちを整える

先月号の
お気に入り

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

ブルーインパルスイングする五線譜
気の利いた一つも言えず終わる夏
AメロもBメロもなく修羅の花
本道を簀巻きに嘘を遠巻きに
遺伝子の赤くたわわになりパッション

先月号の
お気に入り

カウント9 いつも何度も立ちあがる
下手ついで泣きそうな背中貼っておきたいです。
張れ！ジョー！
頑
芝岡かんえもん

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

いい人のふりでつやつや秋茄子で
また洗う捨ててしまえばいいルビを
ダルセーニョ賞味期限は明日まで
風景を置きに行きたい時もある
秋北斗 月傾けば獲れるかも

先月号の
お気に入り

土砂降りの夢を見たから大丈夫
土砂降りの雨も夢の中ならいいことですね。
安藤なみ

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

茸とり熊は友だと笑うけど
ピッチクロックおかげで野球つまらない
句が浮かぶ幽体離脱するように
落陽を早めた理由を知っている
生まれてすぐ期待されない人生で

先月号の
お気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

恵みの雨になるはずだった降りすぎた
雨はもういい線状降水帯
猛暑と大雨極端すぎた夏
おーい雲早く秋風連れてきて
秋恋し夏日が続く彼岸まで

先月号の
お気に入り

海になる前に一瞬星になる
最後は海ですか？星のままではいられないですね
村井規子

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

よかつたらお立ち寄りください 鎖骨
ノアザミのノが邪魔をして飛べないの
せせらぎが聞こえる上腕二頭筋
うつとしい木洩れ日の明るいエール
ラナンキュラス的さよならのらに出会う

先月号のお気に入り
月がでたころの準備できました 鳴海賢治
何かが起きそう。。

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

メメントモリありのまま生きよと秋の風
#赤とんぼで君を探している
コスモス畑笑ってみんないなくなる
あめんぼスイスイじつと俯瞰する
大空の深いところで一葉舞う

先月号のお気に入り
アリバイを嘘っぽくする青インク 夏草ふぶき
青インクの青がしゃべってしまうのですね

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

主逝く庭の娑羅樹立ち枯れる
ポツカリと開いた穴には時薬
「南無釈迦牟尼仏」と紋白蝶が唱えてく
慈雨の茗荷 つぎつぎ芽を出す煩惱
銀杏は黄 残り時間をしなやかに

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

そもそも論深まるビクトリアケーキ
ブロッコリーの根元ぎくぎくインゴット
ハッシュタグハッシュドビーフ西を向く
お先失礼便座ヒーターをオン
全身に満月散って眠れない

先月号のお気に入り
ふるさとほだあれもない五番街 一帆
だあれもないふるさととは遠くなりますよね。寂しい……

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

菊薫る相見し峠まで一里
弁当箱あければ少女趣味ばかり
数合わせ何度やつても苦手な2
地底から友の呪文だ十三の砂山
行き暮れて木の下かげの青蛙

先月号のお気に入り
断捨離はやめた昼からハイキング 城後朱美
同感です。いいですよ、秋の野山は。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

含め煮のかぼちや良い女になったじやない
ででつぽう過ぎ行くいまをででつぽう
骨乳房わたくし色の苔の花
足と耳老いる心を置きざりに
お元氣ですがお年を考え遊ばして

先月号のお気に入り
まだ走り続けるニンジンもなく 四ツ屋いずみ
走れるうちは走りましょう！

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

私語だから二人は夜の声でする
あたらしき声が産まれる天城越え
夜の舌きつて戻れぬところまで
輪郭をぼかして明日の手前まで
ひねもすをうけとめる眉売りました

先月号のお気に入り
一晚で青木ヶ原になる小指 宮井いずみ
「指切りげんまん」のあの小指ですか？針千本より恐いですね。

むさし【むさし・青森県蓬田村】

花の吐息を背負い続けてきた男
モアイ像が紛れこんでるおもちゃ箱
世の中に19・2秒の特殊詐欺
羯諦羯諦3メートルの蛇踏んで
トランプ君世界は君のものじゃない

だけを掬い取る

10月4日(土) 午後2時～ アウガ5F 小会議室

▼出席者(12名)

きさらぎ彼句吾・熊谷冬鼓・夏草ふぶき・葉閑女・Sin・
まきこ・小野五郎・守田啓子・高木まあこ・むさし・笹田隆志・
渡邊こあき

▼投句者(22名)

安藤なみ・柳本恵子・米山明日歌・nes・峯島妙・舟木小柳・
郷田みや・芝岡かんえもん・須藤しんのすけ・村上あつこ・
宮井いずみ・鳴海賢治・斎藤泰子・土田雅子・坂本清乃・
城後朱美・吉田州花・村井規子・田中薫・原口健二・嵯峨
山登・まみどり



課題と選者(2句詠・共選)

題：『庫』

11/30 〆切

選者

兵頭 全郎 (大阪府)

むさし (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

[投句フォームを開く](#)

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

[メールで投句する](#)

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料 (※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000 円

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

席題『列』

青森県弘前市 きさらぎ彼句選

【佳作】

列席をお願いします生前葬
凡人は群れる君子は高軒
葬列を乱してコスモスが揺れる
勝てそうな人の後ろにぞろりぞろり
土偶の列に何で並んでいるのだろう
列車の音に重なる手紙の匂い
いつの日も活断層は縦社会
恐怖心あおる列ですいかがかな
最後尾で立ちつくしてる吾亦紅

渡邊こあき
葉 閑女
葉 閑女
夏草ふぶき
む さ し
渡邊こあき
笹田隆志
ま き こ
熊谷冬鼓

一直線にモバイルバッテリーやってくる
前頭葉優しくなでてから列へ
こちらですラブストーリーの最後尾

皇室の系図で作るあみだくじ

平和への祈り列島深呼吸

ゆうやけと下り列車の相関図

【秀逸】

華のある列だ思わず迂回する

凸凹の無い列なんてああしんど

葬列が海になるまで見届ける

【特選】

ガザ地区の空に夕陽を羅列する

『晴々と朝陽が昇るのは何時だ！』

小野五郎
ま き こ
渡邊こあき

S i n

守田啓子

守田啓子

熊谷冬鼓

高木まあこ

守田啓子

S i n

席題『列』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

こちらですラブストーリーの最後尾
ガザ地区の空に夕陽を羅列する
ルビ振られ清く正しく直列に
列強がモグラ叩きの青い星
沈黙で満員御礼の列車
ゆうやけと下り列車の相関図
勝てそうな人の後ろにぞろりぞろり
列席をお願いします生前葬
恐怖心あおる列ですいかがかな

渡邊こあき
S i n
きさらぎ彼句吾
高木まあこ
夏草ふぶき
守田啓子
夏草ふぶき
渡邊こあき
ま き こ

葬列を乱してコスモスが揺れる

目の前に詐欺師の列ができていた

麒麟の首をじっと見ているカバの列

土偶の列に何で並んでいるのだろう

前頭葉優しくなでてから列へ

ハーメルンの笛に誘われ奈落まで

【秀逸】

葬列から消えた母です秋の雨

いつも列乱すハモリ方が下手で

葬列が海になるまで見届ける

【特選】

凸凹の無い列なんてああしんど

『整然とした列の恐さを作者の感性で表現している。』

葉 閑女

む さ し

む さ し

む さ し

ま き こ

きさらぎ彼句吾

笹田隆志

きさらぎ彼句吾

守田啓子

高木まあこ

宿題『振る』

青森県青森市 夏草ふぶき選

【佳作】

タクト振る自分の人生三拍子
横にしか振れなくなった盆の窪
怒ってたのね強すぎる塩胡椒
振り回すのはやめろそんな正義感
正常になるまで縦に振れません
軽く手を振ってしあわせ逃げてった
勝ち目ない持論ばかりを振りかざす
いいハナシ瘦せた尻尾を振ってみる
外角低めの「元氣ですか？」に手が出ない
尻尾とか首とか振って総裁選
ニンゲンと云う粗塩を振っている
危ないアブナイ振り切れるとこだった
間違いは許さないわとルビを振る
君に会う僕の尻尾が振りきれる

高木まあとこ
土田雅子
吉田州花
まきこ
まみどり
斎藤泰子
原口健二
斎藤泰子
S i n
葉 閑女
芝岡かんえもん
宮井いずみ
峯島 妙
柳本恵子

フィアンセに尻尾見られてそれつきり
振り向けば完璧な夕やけでした
バッテリーの頭ゆすつてはいけません
日本を振ればトランプ落ちてくる
尻尾振る無口な犬と飯を喰う
尻尾振る男に住宅ローンあり

安藤なみ
守田啓子
小野五郎
むさし
坂本清乃
城後朱美

【五客】

木洩れ日になるという身の振り方も
瓶コーラ振って頸動脈破裂
振るためにあるんじゃないという尻尾
百万回振ってようやく出た地球
振り向くと聞こえるサヨナラの時報

守田啓子
n e s
むさし
嵯峨山登
郷田みや

【人位】

秋の音させているのはドロップ缶

米山明日歌

【地位】

さよならの手の振り方は五段階

峯島 妙

【天位】

持ち主がない綺麗な白い旗

須藤しのすけ

『持ち主に名乗り出てほしいね。』

宿題『辺』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

どの辺が痛いか聞いてくれ医者よ
天辺が好きで息切れています
雷神の臍の辺りに絆創膏
どの辺に置き忘れたか脳細胞
人生を田辺聖子の「芋たこなんきん」
この辺にきみの桜があつたはず
母が居たあたりに母のことばたち
その辺の青・蒼・碧を独り占め
「その辺のゴミって私？」目が醒める
十五夜の浜辺で待つと言ったのに
三人で二等分するウクライナ
鼠蹊部を通り過ぎて行く無人駅
気がつけば二等辺三角形の鬱
荒れ果てた庭に宇宙を植えていく

城後朱美
城後朱美
安藤なみ
葉 閑女
笹田隆志
吉田州花
斎藤泰子
坂本清乃
夏草ふぶき
葉 閑女
小野五郎
小野五郎
笹田隆志
夏草ふぶき

海馬辺りにわたしの獏が棲んでいる

芝岡かんえもん

胃の中に三角形が満ちてくる

n e s

底辺を三島由紀夫の眉とする

S i n

こめかみの辺りの滝が殺気だつ

米山明日歌

十八の秋のあたりで待ってます

守田啓子

二等辺三角形になります

郷田みや

【五客】

オリオンを置いた窓辺が濡れている

夏草ふぶき

この辺で百一回目の嘘をつく

まきこ

モアイ像の真ん中辺のピルケース

笹田隆志

底辺で知ったてにをはの温度差

きさらぎ彼句吾

石投げる嫉妬のほとりに佇んで

S i n

【人位】

そんな逃げ腰でつとまるか底辺

きさらぎ彼句吾

【地位】

むず痒い辺りで焚き火した記憶

まみどり

【天位】

「シニタイ」の上澄みだけを掬い取る

S i n

『へえ、そんなのを掬うんだ…』

■宿題『お節介』

村上 昌子 選

【平抜き】

お節介でいい孤老のくらし支え棒
好きでもない曲にマイクを持たされる
絶妙な空気読めずにお節介
手を貸せばお節介だと言う人も
お節介ですが信号は赤です
孫は未だまだかと要らぬお節介
要らないとはじめは思いうお節介
お節介喋りまくって得意顔
手助けのつもりが過ぎたお節介

【秀逸】

赤い糸すらすら結ぶお節介
お節介焼く人來たら目をそらす

【特選】

着飾ったペットが悲鳴あげている

佐藤まさあき

佐藤まさあき

高田 幸柳

木村奈生美

城後 朱美

瀧尻 善英

福田 芳記

白山 修治

瀧尻 善英

齊藤 蛙井

高田 幸柳

瀧尻 善英

■宿題『音』

齊藤 蛙井 選

【平抜き】

虫の音にさしもの猛暑遠慮する
風呂場から父ちゃん演歌外れてる
ぐつぐつと深夜に虫の子守唄
北斎の波が空から響く音
好きな歌聞いて満たされ音匂う
涼風に耳を済ませば空きの音
鍛えたら気配で闇の音を吸う
ラーメンをすする音までおいしそう
一手先 読んだ王手へ駒の音
父ちようどだがうるさいとテレビ音
座禅くむ心耳に入る自然音

【秀逸】

戸を閉める音がうるさい反抗期
まな板の音から洩れる不快感

【特選】

寝転んで行く雲を観る風を聴く

佐藤まさあき

佐藤まさあき

村上 昌子

瀧尻 善英

白山 修治

高田 幸柳

白山 修治

瀧尻 善英

瀧尻 善英

福田 芳記

福田 芳記

木村奈生美

木村奈生美

福田 芳記

■宿題『温暖化』

互選

①止められぬ温暖化に次ぐ物価高

佐藤まさあき

①天を見て怒りあきらめ矛盾こへ

白山 修治

①温暖化生き抜く背なに抱く強気

木村奈生美

①子どもに温暖化のままで渡せるか

齊藤 蛙井

②温暖化サアどうすると問う自然

村上 昌子

②豊かさへ警鐘鳴らす温暖化

高田 幸柳

③イネ育種むかし耐寒いま耐暑

福田 芳記

③統計をまた塗り変えた この猛暑

瀧尻 善英

◆十和田たてがみ川柳会11月句会案内◆

【時】11月15日(土) 午前10時から 【所】十和田労働
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『亀裂』・高田幸柳選
／『気分』・木村奈生美選 【互選】(一句詠)『ぎつしり』
当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当
日発表』(二句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者
から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平
72 高田幸柳宛



2句詠・共選 投句拝辞)「ゲーム」吉見恵子・むさし / 「じりじり」熊谷冬鼓・野沢省悟 / 「座る」笹田かなえ・長谷川醉月 / 「感動」滋野さち・渡辺松風 ● 席題 (各題2句詠・共選) 「 」守田啓子・三浦蒼鬼 / 「 」岩崎眞里子・成田我楽 ★我洲杯 (1句詠・3人共選) *採点 特選1句=2点 佳作15句=1点「旅」北山まみどり・佐藤ぶんじ・田沢恒坊 ◆賞 宿・席題合点により1位に紗光杯、2位に寿久杯、他20位まで 我洲杯3位まで 宿泊ご希望の方は1月10日までに、次にご連絡下さい。 〒036-8227 弘前市桔梗野3-3-3 千島鉄男 TEL 0172-34-3392 主催 弘前川柳社 後援 弘前文芸協会

□ 2026.01.31 青森県川柳年鑑「ねぶた」作品募集 2026年(第7集)

【応募資格】 青森県在住または青森県内の結社に所属している方 【対象作品】 残しておきたい自選10句(新作、旧作問わず) / 作品にタイトル(タイトル無しも可) 【応募料】 郵便振込 №02230-8-142889 (口座名) 青森県川柳連盟 / 3,000円(切手不可)・家族割(2名で4,500円) / (郵便振込の方へは領収書は発行しないので振込控えの保管をお願いします) 【応募方法】 ①メールで応募…件名に「ねぶた応募」メール本文(横書き)に裏面内容を入力し、<hiro-m40@amber.plala.or.jp> (守田啓子)へ送信する ②郵送で応募…所定用紙(裏面・コピー可)またはA4用紙に裏面内容を楷書で明記する(送り先) 〒036-8083 弘前市新里字上樋田121 きさらぎ彼句吾方 川柳年鑑係 ※作業効率を図る為、郵便振替・メールでの応募をお願いします 【募集期間】 2025年10月～2026年1月末日 【発行】 2026年5～6月予定 【掲載内容】 A5版の冊子に 作品・姓と柳号・住所・電話番号・所属結社(住所と電話番号の掲載は任意) / 各大会の記録・各結社の呈賞、柳壇トピック他 【問合せ】 青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 TEL 080-5574-9297 青森県川柳連盟

川柳の大会情報をお寄せください。

□ 2025.11.08 第7回 水の都まつえ川柳大会

《「第1部(誌上の部)」【兼題】『自由吟』2句詠【選者】(6名の選者による共選) 永見心咲(岡山)・西浦小鹿(鳥取)・藤田武人(大阪)・栃尾秦子(大阪)・ほか2名【締切】令和7年9月30日(火曜日)(当日消印有効) 厳守【参加費】1,000円(切手不可・小為替等で) 大会誌呈 ※一人何口でも参加可能です【投句用紙】投句用紙または自由用紙をご使用ください(コピー可)【賞】1句のポイント制として、上位入賞者に賞品を設けます(松江市特産品等) 《第2部(当日の部)」(事前・欠席投句の受付はありません。当日出席者のみ) ※選者は兼題それぞれ3名(当日発表含む)による共選【兼題】各2句詠・計6句を出句(3名選者による共選)『アナログ』永見心咲(岡山)・西浦小鹿(鳥取)・当日発表 / 『苦情』藤田武人(大阪)・栃尾秦子(大阪)・当日発表【開催日】令和7年11月8日(土曜日)【会場】松江市殿町 島根県民会館303号室(Tel 0852-22-5506)・開場午前11時・出句締切午前12時・開会午後1時半(昼食は各自でお済ませください)【参加費】2,000円(誌上の部参加者は1,000円)【賞】上位入賞者に賞品を設けます(松江市特産品)【大賞】 当日の部の最後に『誌上の部』『当日の部』の入賞句を発表の後。選者及び参加者の投票により『大賞』を決定します

□ 2025.11.24 第61回青森市民文化祭川柳大会

【日時】令和7年11月24日(月) 勤労感謝の日 受付:12時/席題発表:13時/投句締切:14時 【会場】青森市男女共同参画プラザ「カダール」アウガ5階研修室【会費】1000円(発表誌含)【宿題】(各題・2句詠)投句拝辞『顔』滋野さち選 / 『早い』俵谷醉光選 / 『ゲーム』きさらぎ彼句吾選【席題】(各題・2句詠・共選)『 』川嶋翔・渡辺寂隆選 / 『 』熊谷冬鼓・柳谷たかお選【特別選】(2句詠)『味』北山まみどり選【呈賞】各題共 特選賞・初声賞 ※終了後の懇親会はありません ※青森市以外からの参加も歓迎します【主催】青森市川柳連盟会長 野沢省悟 【後援】青森市文化団体協議会【問合せ】電話017-739-7137 太田久

□ 2026.01.18 第90回新春川柳大会

【日時】令和8年1月18日(日) 席題発表午前10時(10時受付開始)【会場】弘前プラザホテル(弘前市代官町101-1) TEL 0172(35)0345 弘前駅より10分【会費】4千円(弁当、発表誌) 懇親会はありません ●宿題(各題

■会費拝受【9月受付分】

小松憲一（茨城県）・佐藤雅秀（青森県）・nes（兵庫県）

おかじょうき川柳社は年会費 4,000 円です！

会員はすべての投句料が無料になります。

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆今回は「字結び」というルールについてのお話。最近あまり目にすることがなくなった「字結び」というルールだが、これは前句附を起源とする川柳というジャンル独特の、題詠を前提としたルールである。普段、表記はされていないが、「字結び不可」がデフォルトだろう。例として、「案」という題があったときに、「案山子」の単語だけでは「案」という題に沿っていないと判断されるというルールだ。題に「案（字結び可）」と表記されていれば「案山子」でも OK というものである。これに対し、結論から言うと、おかじょうき川柳社は「どうでもいい」ということを宣言しておきたい◆まず、このルールがなぜ必要なのかというと、句会・大会において、選の優劣や、その先の総合得点の優劣を決める場合の公平性を担保するためにある。きちんとその題の意図に沿って作られたかどうか、そういう公平な環境で優劣や得点を競おうというためのルールである。ただ、当柳社の句会・大会は、句の優劣や、総合得点を競う場でないと考えている。だから、選の結果や得点に対し、別に揉めることもない。シンプルに、佳い句かそうでない句か、選の

結果は、その選者の価値観の提示だけにしかすぎない◆当柳社の考えとしては、その人の代表作になるような、あるいは今後、句集に掲載されるような佳句・秀句を、このおかじょうき川柳社というプラットフォーム上で、自由に、一句でも多く生み出して欲しいと願っている。題詠の題はあくまでそれをお手伝いするヒントとして提示しているだけで、「字結び」かどうか、そんなことに気を使って秀句を書き逃すことのほうが損失だと考えている。その題をヒントに、自由に、一句でも多くあなたの秀句を生み出して欲しい。逆に、その題に寄りかかり過ぎていないか、題を隠してもきちんと成立している句か、そのことのほうが「字結び」かどうかより、よっぽど重要なことである。題詠であっても、自由詠で選されるとして作ることが大事である◆ただ、気をつけて欲しいのは、他団体には他団体の考え方もあり、総合得点で川柳を楽しんでいるところも数多く存在する。それはそれで何も否定するものでもない。「字結び」というルールを理解し、そのルールに厳しいところもあることを理解したうえで、他所に投句をしてほしい◆ Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2025.11.01 おかじょうき川柳社本社 11 月句会

【日時】11 月 1 日（土）午後 2 時～【所】アウガ 5 階小会議室【欠席投句締切】10 月 31 日（金）15 時【宿題（各題 3 句詠）】『減る』『保』『自由詠』【席題】1 題 3 句詠・2 人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『くだもの』1 句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.11.19 川柳吟行会ば 吟行・合評句会

【合評句会日時】令和 7 年 11 月 19 日（第 3 水曜日）14 時～【吟行場所】青森駅前「アウガ」館内（地階「新鮮市場」～8 階市民図書館）各自で合評句会までに吟行【合評句会場所】アウガ 5 階企画ワーク室①【参加費】100 円 ※会員以外の方も参加可

□ 2025.11.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5 句

【締切】11 月 20 日必着【提出】雑詠 5 句、お気に入り 1 句（最新号からお好きな作品 1 句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】1/1 発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.12.06 川柳忘年会 2025

【日時】令和 7 年 12 月 6 日（土）13 時 30 分受付【句会場所】ねぶたの家ワ・ラッセ 1 階「交流学習室③」【宿題】（2 題・2 句詠・二人共選）『感』『染』（選者は当日発表・欠席投句拝辞）【席題】（1 題・2 句詠・二人共選）題・選者は当日発表【リレー川柳】川柳で遊ぶ【参加費】6,000 円（句会・懇親会）（句会のみ参加は 2,000 円）【懇親会場所】ワ・ラッセ 1 階「魚っ喰いの田」17 時～19 時 ※会員以外の方も参加可

→参加申込フォーム：<https://forms.gle/pZhBerqkEfwTAnzY9>

おかじょうき川

<http://okaioki.com>

No.380

おかげょうき川柳社
http://okajoki.com/

2025年11月1日発行(年12回発行) 第30巻11号通巻380号

●発行人／むさし●編集／S i n ●発行／おかげょうき川柳社●表紙題字／金子榮風

青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-1 ●E-Mail:info@okajoki.com